

はじめに

平成 27 年度筑波大学大学院図書館情報メディア研究科図書館情報メディア専攻博士前期課程修了者の修士学位論文抄録集を刊行いたしました。本博士前期課程では、修士（情報学）と修士（図書館情報学）の二つの学位を出しており、本抄録集には、修士（情報学）あるいは修士（図書館情報学）の学位を本年度取得した合計 46 名の学生の修士学位論文の抄録が収められています。特に、今年は英語での講義、演習、研究指導を行う図書館情報学英語プログラムの初めての修了生 3 名の抄録も収められています。

修士論文は、個々の大学院生の研究成果をまとめたものではありませんが、そこには研究指導に携わった教員から得た知、研究を進める過程で多くの方々から得た知が詰まっています。本抄録集は、修士論文としてまとめられた個々の研究成果のエッセンスを見る窓としてのみならず、本研究科で進められる研究全体を俯瞰するための役割も持っています。伝統的な図書館情報学や情報科学の領域にとどまらず、様々な分野と結びついた学際的な領域における研究が進められていることを、この抄録集が伝えてくれています。

本研究科は、「情報メディアによる社会の知識共有とその仕組みに係る研究を発展させ、新しい時代に向かって社会をリードできる人材を養成すること」を使命としています。ここでは、社会における知識・情報の共有や、その仕組みとしての図書館や情報ネットワークを対象にした、人文学、社会科学、理工学等の多様なアプローチからの総合的・複合的な取り組みを行っています。また、留学生や社会人学生を含む多彩な学生が学ぶ場を提供しています。本抄録集は、本研究科の教員・学生はもとより、本研究科とそこでの研究教育に関心をお持ちの方々にもお読みいただければ幸いに存じます。抄録だけでは詳しい研究成果の内容を知るには不十分と思われることもあるかもしれませんが、個々の研究の詳しい内容にご関心を持たれた場合は当該論文の指導教員あるいは学生から詳しい内容を得ていただければありがたいと思います。

最後になりましたが、修士論文の指導や査読を始めとして論文作成に関わられた教員各位および学生の研究活動を支えられた支援室の職員の方々に感謝申し上げます。そして、修了生諸君の将来の発展と活躍を大いに期待しております。

平成 28 年 3 月

図書館情報メディア研究科長 杉本重雄